

外国人を日本社会の一員としてしっかりと受け入れ、社会から排除されないようにするため地方自治体等の取組を支援

地域日本語教育実践プログラム

プログラム (A)

日本語教育人材の養成・標準的なカリキュラム案等による日本語教室



プログラム (B)

外国人が参加しやすいイベントを通じた日本語教育の実施等



新規 地域日本語教育スタートアッププログラム

これまで教室を開設できていない自治体に対しアドバイザーを派遣。日本語教育プログラムの開発、教材作成、日本語教室設置に向けた関係機関との調整などを支援。



2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた日本語指導者や外国人材を活用した取組例

外国人住民を活用した訪問外国人への“おもてなし”

日本文化を紹介しつつ日本語を教える

外国人選手と日本人との通訳や母国語教室の開催



全ての住民の活躍による地域活性化、共生社会の実現

オリンピック
レガシー